

## 「探しだせ！カレーの具材どこいった？さんべファミリーチャレンジ☆」

### 1 趣 旨

- ・秋のさんべの自然に触れながら、体験を通して三瓶地域の自然や体験活動に興味・関心を高める。
- ・親子で一緒に活動することにより、親子活動の楽しさを知る。
- ・家族同士で関わりながら活動できるようにすることで交流を図る。
- ・体験活動に興味・関心をもつことにより、以降も体験活動をしたいという意欲につなげる。

### 2 事業の概要

#### (1) 期間

- ①令和5年 9月23日(土)～9月24日(日) 【1泊2日】
- ②令和5年 9月30日(土)～10月 1日(日) 【1泊2日】
- ③令和5年10月 8日(日)～10月 9日(月・祝) 【1泊2日】

#### (2) 会場

国立三瓶青少年交流の家

#### (3) 対象

主として小学校3年生～小学校6年生とその家族

#### (4) 参加者

募集人数 各回100人30家族程度

- ①23人(7家族) 応募人数 29人(キャンセル 6人)
- ②39人(13家族) 応募人数 71人(キャンセル 32人)
- ③33人(10家族) 応募人数 54人(キャンセル 21人)

#### (5) 日程・内容

##### 【1日目】

- 10:30～ 受付
- 11:00～11:40 オリエンテーション・はじめの会
- 11:45～12:45 昼食
- 12:45～13:15 アイスブレイク
- 13:15～16:30 ファミリーチャレンジⅠ 探しだせ！カレーの具材どこいった？  
※雨天時 室内
- 17:10～17:25 タベのつどい
- 17:30～19:00 夕食・入浴・休憩
- 19:00～ 自主活動〈所内〉  
※カブラ、卓球、将棋など  
天体観察会〈サヒメル〉(①②のみ)  
※参加者は各自でサヒメルに予約  
外部講師マッキーさんによる夜の自然観察会(③のみ)  
※希望制(10家族程度)  
※雨天時：ポールウォーク
- 20:30～22:00 入浴・就寝準備
- 22:30 就寝

##### 【2日目】

- 6:30 起床
- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:20～7:40 清掃

|             |           |                          |
|-------------|-----------|--------------------------|
| 7 : 4 0 ~   | 8 : 4 0   | 朝食・荷物移動                  |
| 8 : 4 0 ~   | 9 : 2 0   | 退所点検                     |
| 9 : 2 0 ~   | 1 0 : 0 0 | 救済チャレンジ☆                 |
| 1 0 : 0 0 ~ | 1 3 : 3 0 | ファミリーチャレンジⅡ 野外炊飯(ビーフカレー) |
| 1 4 : 0 0 ~ |           | おわりの会・解散                 |

### 3 事業の特色

#### (1) プログラムデザインと企画のポイント

親子活動の楽しさを知ることができるようにするため、秋の三瓶の自然に触れながら行う「オリエンテーリング」と「カレーづくり」を企画した。

1日目の「オリエンテーリング」は、三瓶山北の原のコースを使用して行い、2~3家族を1つのグループにすることで家族同士の交流を図った。参加者は、グループで様々なミッションに挑戦し、カレーの具材を獲得していく。オリエンテーリングで全ての具材を獲得すれば、翌日には具材がそろったカレーを食べることができる設定にすることにより、グループでの協力が必要不可欠な状況をつくり出した。

2日目の「カレーづくり」については、1日目に探し出した具材を使い、グループの中で役割を見つけながら協力してできるようにするため、「カレーを作る」「ご飯を炊く」「残さず食べる」「片付けをする」などをミッションとして設定した。

参加者が2日間を通して様々なチャレンジをすることにより、子どもの成長や、家族、グループでの達成感を感じられるような構成にした。また、出会ったばかりの家族同士の緊張をほぐすため、最初にレクリエーションを行い、その中で自己紹介をすることにより、より早くお互いの名前を覚えて仲良くなれるようにした。

さらに、2日間の思い出やチャレンジの成果を形に残して参加者が持ち帰るようにするため、グループで撮った写真などを貼る色紙を各家族に1枚用意した。この色紙については、オリエンテーリングや野外炊飯など、2日間の活動で使用し、最後にファミリーチャレンジを達成した証として贈呈した。

#### (2) 運営のポイント

ファミリーチャレンジⅠでは、安全対策のためにスタッフがトランシーバーや笛を持ち、緊急時に連絡をとったり笛で知らせたりできるようにした。また、常にトランシーバーで連絡を取り合い、どのグループがクリアしたのかをスタッフが把握できるようにした。

ファミリーチャレンジⅡでは、各グループにスタッフが入り、見守りをするようにした。グループから離れて遊びに行こうとする子供に対し、「チャレンジスタンプをもらうために頑張ろう。」などと声を掛けてやる気を取り戻せるようにするなどした。

### 4 参加者へのアンケート結果

#### (1) アンケートの集計 (%)

|       | 満足  | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-------|-----|------|------|----|
| 事業全体  | 93  | 7    | 0    | 0  |
| プログラム | 97  | 3    | 0    | 0  |
| 運営    | 90  | 10   | 0    | 0  |
| 職員の対応 | 100 | 0    | 0    | 0  |

## (2) 参加者の声

- ・他の家族と仲良しになれていい体験になりました。
- ・ふだんは見ることのできない、子どもの姿、成長を見ることができてうれしかったです。
- ・親子で一緒に楽しめました。
- ・地図が分かりづらく、危うく遭難しそうになりました。もう少し分かりやすくしてほしいです。

## 5 成果と課題

### 《成 果》

- ・アンケートの「他の家族さんと仲良くなれて、楽しかった。」との意見があるように、参加者の交流が盛んに行われていた。
- ・チャレンジの一つとして、つどいにおいてスピーチなどの役割の立候補をつのった。
- ・野外炊飯では、包丁を使って皮むきをするなど、ふだん家ではやらないことにチャレンジしたり、グループみんなで協力して作ったカレーライスを残さず食べようと頑張ったりする姿が見られた。また、作るだけでなく最後の片付けまで分担しながらできていた。
- ・初めて行う事業であり、参加家族数が少なかったが、「ふだんは見ることのできない子供の姿、成長を見ることができてうれしかった。」など、参加者からは満足の評価を多かった。「また来たい。」という声もあったことから、次回の利用につながるよう広報に力を入れていきたい。

### 《課 題》

- ・1日目の具材を探す活動の際、うまく説明が伝わらなかったため、登山道に入ってしまったグループがいた。アンケートに「地図が分かりにくかった。」との記述があり、安全管理については、より綿密な計画と注意喚起が必要であると感じた。
- ・2日目のカレーづくりでは、未就学児の子供が活動に飽きて遊び始めることがあった。参加対象年齢以外の子供が飽きない工夫も必要であると感じた。



ファミリーチャレンジⅠ  
具材探し

ファミリーチャレンジⅡ  
カレーづくり

ファミリーチャレンジクリア  
(集合写真・終わりの会)

(担当：事業推進係 黒田 純菜)